

実務経験証明書（再入学）

武蔵野大学学長 殿

《証明を受ける者》

平成 年 月 日作成

フリガナ		生 年 月 日
氏 名		年 月 日

【記入上の注意事項】

- ・訂正する場合は、必ず証明権限を有する代表者の職印（証明印）で訂正してください。修正液による修正は無効です。
- ・記載事項の虚偽等が判明した場合、実習免除が取り消されます。これにより社会福祉士国家試験が無効となった場合には、大学はその責任を負いかねます。
- ・「施設・事業種類」「医療機関の種類」「職種」欄に記載する各名称は、本学ホームページに掲載している『（参考資料）指定施設における相談援助業務の範囲(PDF)』に記載されている名称を省略せずにそのまま転記してください。省略したり異なる名称を記載した場合は不備となり、受理できません。名称が長い場合は欄外にはみ出して記入してかまいません。

施設・事業所・機関職員	施設・事業種類		職種	
	施設・事業所名			
	以下(1)・(2) いずれかにご記入ください。 (1) 上記の者は、昭和・平成 年 月 日より現在に至るまで、当施設・事業所・機関において相談援助の業務に従事していることを証明します。 (2) 上記の者は、昭和・平成 年 月 日より 昭和・平成 年 月 日(年 カ月) まで、当施設・事業所・機関において相談援助の業務に従事したことを証明します。			
病院・診療所職員	医療機関の種類 (○を付す)	病院 ・ 診療所	職種	相談援助を行っている専任の職員
	業務内容 (アからエまでの業務を全ておこなっていることが必要です)			
	ア 患者の経済的問題の解決、調整に係る相談援助 イ 患者が抱える心理的・社会的問題の解決、調整に係る相談援助 ウ 患者の社会復帰に係る相談援助 エ 以上の相談援助を行うために地域における保健医療福祉の関係機関、関係職種等との連携などの活動			
	以下(1)・(2) いずれかにご記入ください。 (1) 上記の者は、昭和・平成 年 月 日より現在に至るまで、当病院・診療所において専任で上記アからエまでの相談援助の業務に従事していることを証明します。 (2) 上記の者は、昭和・平成 年 月 日より 昭和・平成 年 月 日(年 カ月) まで、当病院・診療所において専任で上記アからエまでの相談援助の業務に従事したことを証明します。			
市(区)町村社会福祉協議会	事業種類	市(区)町村社会福祉協議会	職種	
	業務内容	主として高齢者、身体障害者、知的障害者、精神障害者、児童その他の要援護者に対する相談援助業務		
	以下(1)・(2) いずれかにご記入ください。 (1) 上記の者は、昭和・平成 年 月 日より現在に至るまで、当社会福祉協議会において専任で上記の相談援助の業務に従事していることを証明します。 (2) 上記の者は、昭和・平成 年 月 日より 昭和・平成 年 月 日(年 カ月) まで、当社会福祉協議会において専任で相談援助の業務に従事したことを証明します。			

《証明者》

所在地	〒 -
法人名	
施設・機関の種類別	
施設・事業所・機関等の名称	
代表者または証明権者(役職・氏名)	[証明印]

受験番号※事務室記入							
------------	--	--	--	--	--	--	--

実務経験申請書（再入学）

平成 年 月 日

武蔵野大学学長 殿

私の相談援助に関する実務経験は以下のとおりですので、実務経験証明書を添えて申請いたします。

＜申請者＞ 住 所 _____

氏 名 _____ ⑩

連絡先（携帯電話等）（ _____ ） _____

相談援助業務の実務経験として認められる事業種類・職種	
事業種類	職種
施設名称	証明権者*
平成 年 月 日 ～	☐ 平成 年 月 日（ 年 ヶ月） ☐ 現在に至る（平成 年 月 日現在）
事業種類	職種
施設名称	証明権者*
平成 年 月 日 ～	☐ 平成 年 月 日（ 年 ヶ月） ☐ 現在に至る（平成 年 月 日現在）
合 計	年 ヶ月

*証明権者の欄には、「実務経験証明書」の施設・機関代表者名を記入してください。

「生活支援員等」「保育士」「児童指導員」の職種で申請する方 で、介護福祉士資格を取得している方はお答えください。

◎過去に介護福祉国家試験の受験要件として、実務経験期間を証明して受験したことがある。

はい いいえ

【注意事項】

- ・記載事項の虚偽等が判明した場合、実習免除が取り消されます。これにより社会福祉士国家試験が無効となった場合には、大学はその責任を負いかねます。
- ・「事業種類」「職種」欄に記載する各名称は、本学ホームページに掲載している『〈参考資料〉指定施設における相談援助業務の範囲(PDF)』に記載されている 名称を省略せずにそのまま転記してください。省略したり異なる名称を記載した場合は不備となり、受理できません。名称が長い場合は欄外にはみ出して記入してかまいません。
- ・本申請書と実務経験証明書とは整合性がとれている必要があります。